

II 賑わうまち

1. 交流するまちづくり

- ☐ 観光の振興
- ☐ 交流拠点の整備
- ☐ 国際交流・姉妹都市交流の推進
- ☐ 情報発信の強化

2. 活力あふれるまちづくり

- ☐ 商工業の振興
- ☐ 農林業の振興
- ☐ 地域資源のブランド化

3. 移住・定住しやすいまちづくり

- ☐ 移住・定住の促進
- ☐ 空き家・遊休農地の活用

4. 男女がともに活躍するまちづくり

- ☐ 男女共同参画の推進



観光大使事業

24.2 万円

《 担当： 企画 課 ふるさと納税 係 》

町観光大使の市瀬秀和氏、深沢 敦氏に、本町のPRをご協力いただいています。町としても両氏の俳優としての活躍を応援しています。

◆主な経費

・ 出演時祝い花贈呈代	13.0 万円
・ PR用特産品代ほか	11.2 万円

●財源内訳●

町	24.2 万円 (100 %)
---	------------------

● 「神明の花火大会」町花火打上げ委託料

400.0 万円

《 担当： 商工観光 課 観光 係 》

8月7日の神明の花火大会に、町花火として打ち上げる花火の委託料です。

◆主な経費

・ 神明の花火大会町花火打上げ委託料	400.0 万円
--------------------	----------

●財源内訳●

町	400.0 万円 (100 %)
---	-------------------

● 花火公園管理業務委託

66.0 万円

《 担当： 商工観光 課 観光 係 》

花火公園にある花火資料館などの年間運営管理を『神明の花火倶楽部』に業務委託し、花火PRの拠点施設として活性化を目指します。

◆主な経費

・ 花火公園管理業務委託料	66.0 万円
---------------	---------

●財源内訳●

町	66.0 万円 (100 %)
---	------------------



大門碑林公園管理運営

554.9 万円

《 担当： 商工観光 課 観光 係 》

大門碑林公園の管理運営費です。

大門碑林公園は、甲斐源氏発祥の地・平塩の岡にあり、書道のまちづくりの中核をなす公園です。古来より書道の宝典とされてきた中国歴代の名碑15基が、創建当時のままに復元されています。

◆主な経費

・ 公園維持管理費	521.9 万円
・ 事業運営費	33.0 万円

●財源内訳●

町	359.4 万円 (65 %)
他【入園料・使用料・物品売上・雑入】	195.5 万円 (35 %)

● 文化と武道の館管理

449.3 万円

《 担当： 商工観光 課 観光 係 》

文化と武道の館の管理費です。

文化と武道の館（ひらしお源氏の館）は、書道・絵画・写真展などをはじめとする文化展などに利用される木造の建物です。

◆主な経費

・維持管理費 449.3 万円

●財源内訳●

町 449.2 万円 (99.98 %)
他【 使用料 】
0.1 万円 (0.02 %)

● 温泉事業

3,718.9 万円

《 担当： 商工観光 課 観光 係 》

県内外から年間26万人もの来客がある『みたまの湯』の施設、源泉、送湯、温泉スタンドなどの維持管理と起債償還です。

◆主な経費

・維持管理経費 153.6 万円
・起債償還 3,565.3 万円

●財源内訳●

町 2,699.7 万円 (73 %)
他【 使用料・基金・利子・納入金 】
1,019.2 万円 (27 %)

● ふるさと会館等公園管理

1,809.2 万円

《 担当： 商工観光 課 観光 係 》

歌舞伎文化公園ふるさと会館、ふれあい広場、いこいの森の維持管理費です。

◆主な経費

・維持管理費 1,809.2 万円

●財源内訳●

町 1,584.5 万円 (88 %)
他【 使用料・繰越金・利子・雑入 】
224.7 万円 (12 %)

● 文化資料館・ばたん園等管理

418.5 万円

《 担当： 商工観光 課 観光 係 》

文化資料館、民俗資料館、ばたん園の管理費です。文化資料館内では、3Dで町PR映像が見られます。

◆主な経費

・文化資料館・民俗資料館管理費 381.1 万円
・ばたん園管理費 37.4 万円

●財源内訳●

町 414.3 万円 (99 %)
他【 基金利子・雑入 】
4.2 万円 (1 %)

◆◆◆ 交流拠点の整備 ◆◆◆

● 町道宮原一本松広場線整備事業

300.0 万円

《 担当： 土木整備 課 公共土木 係 》

この路線は、六郷インターチェンジ東側交差点から県営岩間平団地を結び、幅員 7.0 m の道路・橋梁です。

◆主な経費

・委託費	100.0 万円
・工事費	200.0 万円

●財源内訳●

町	300.0 万円 (100 %)
---	-------------------

◆◆◆ 国際交流・姉妹都市交流の推進 ◆◆◆



市川三郷町国際交流協会運営補助

245.0 万円

《 担当： 教育総務 課 総務施設 係 》

本町と姉妹都市を締結しているアメリカ合衆国アイオワ州マスカティーン市とは、市川三郷町国際交流協会が中心となり、相互にホームステイなどを実施し交流をしています。また、町内 3 カ所で小学生以上を対象にした外国人講師による英会話教室の開催や、国際交流啓発活動として基調講演会などを行っています。昨年度に引き続きイングリッシュキャンプを開催し、外国語を通じての異文化交流を行い国際理解に努めています。これらの国際交流活動を行う、市川三郷町国際交流協会に対する、運営を補助します。

◆主な経費

・市川三郷町国際交流協会運営補助金	35.0 万円
・マスカティーン市使節団派遣時補助金	180.0 万円
・イングリッシュキャンプ補助金	30.0 万円

●財源内訳●

町	245.0 万円 (100 %)
---	-------------------

● 姉妹町交流事業

61.1 万円

《 担当： 商工観光課観光係、企画課企画係 》

姉妹町である静岡県西伊豆町と毎年交流事業を実施しています。民宿やホテルに宿泊した場合の助成金事業や、4 月の「ほたんの花まつり」と 11 月の「西伊豆町ふるさと祭り」での相互交流を行うほか、両町による交流事業などを実施し、さらに友好を深めています。

◆主な経費

・西伊豆交流助成金	25.0 万円
・西伊豆ふるさと祭り参加交流	4.4 万円
・姉妹町間交流事業費	31.7 万円

●財源内訳●

町	61.1 万円 (100 %)
---	------------------



呼ぼうプロジェクトPR事業

経費の計上なし

《 担当： 企画 課 企画 係 》

町の魅力を町内外に広くPRするため、町職員有志が地域の活性化と定住人口や交流人口の拡大に向けて各種イベントや広報活動をおこないます。

◆主な経費

今年度はありません

● 「いちかわみさと議会だより」の発行

119.0 万円

《 担当： 議会事務局 》

議会広報編集委員会により、年4回開催される定例会ごとに編集・発行されています。議会広報モニターの皆さんから寄せられるご意見をもとに、よりわかりやすい広報紙づくりに努めています。

◆主な経費

・議会だよりの印刷 119.0 万円

●財源内訳●

町 119.0 万円 (100 %)

● 「広報いちかわみさと」の発行・電子ブック化

198.4 万円

《 担当： 総務 課 広聴広報 係 》

「広報いちかわみさと」は毎月1日6,500部モノクロ印刷で発行しています。また昨年度、電子ブック化した過去の広報を、スマホやタブレットで閲覧できるシステムを構築します。

◆主な経費

・広報紙の印刷 185.4 万円
・サーバホスティング代 13.0 万円

●財源内訳●

町 198.4 万円 (100 %)

● 「知ってほしい、まちの予算」の発行

3.0 万円

《 担当： 総務 課 広聴広報 係 》

町の事業や財源内訳を詳しく紹介するこの冊子です。経費削減を念頭に、職員の手作りで発行します。

◆主な経費

・用紙代 3.0 万円

●財源内訳●

町 3.0 万円 (100 %)

● 町PR事業 45.2 万円

《 担当： 総務 課 広聴広報 係 》

主に市川三郷レンジャーを活用し、町のPR事業を展開します。

◆主な経費

・レンジャーグッズ製作	27.0 万円
・着ぐるみのクリーニング等ケア代	18.2 万円

●財源内訳●

町	45.2 万円 (100 %)
---	------------------

● 町HPサーバ及びCMS保守 65.9 万円

《 担当： 総務 課 広聴広報 係 》

町ホームページのサーバと、その基幹であるCMSソフトの年間保守の作業委託です。

◆主な経費

・ホームページサーバ及びCMS保守料	65.9 万円
--------------------	---------

●財源内訳●

町	65.9 万円 (100 %)
---	------------------

● 情報システムの運用 4,145.5 万円

《 担当： 総務 課 情報化推進 係 》

迅速なサービス実現のために、業務の多くはコンピュータによるシステム化を進めています。処理時間の短縮は、住民サービスの待ち時間短縮や人件費などの削減にもつながります。

◆主な経費

・機器リース、保守料金など	3,255.4 万円
・システム運用負担金	890.1 万円

●財源内訳●

町	4,145.5 万円 (100 %)
---	---------------------

● 情報・ネットワークシステムの更新 388.8 万円

《 担当： 総務 課 情報化推進 係 》

町のネットワークシステムは、合併時に統合再構築し稼働しています。旧町時代及び合併時に導入した機器も稼働しており、古い機器は経年劣化による故障も頻繁となっているため、計画に基づき更新を進めていく必要があります。

◆主な経費

・ネットワークシステム更新、設計・管理業務	388.8 万円
-----------------------	----------

●財源内訳●

町	388.8 万円 (100 %)
---	-------------------

● 総合行政ネットワーク

585.0 万円

《 担当： 総務 課 情報化推進 係 》

国や全国の自治体を結び、行政事務の効率化を図る『総合行政ネットワーク（LGWAN）』の運用を行います。

また、証明書などの交付申請が自宅などのパソコンからできる『電子申請』を推進します。

◆主な経費

・システム運用負担金など	428.4 万円
・保守作業費など	156.6 万円

●財源内訳●

町	585.0 万円 (100 %)
---	-------------------

◆◆◆ 商工業の振興 ◆◆◆



買援隊活動促進事業

21.4 万円

《 担当： 商工観光 課 商工 係 》

高齢者や山間地など、買い物に不便をしている人が、買い物をし易くなるよう支援をします。昨年度は、移動販売場所へベンチを設置しました。

◆主な経費

・買援隊パンフレットの作成費	10.0 万円
・検討委員会	4.0 万円
・買援隊促進に関する事業	7.4 万円

●財源内訳●

県	10.7 万円 (50 %)
町	10.7 万円 (50 %)



印章購入費助成制度事業

15.0 万円

《 担当： 商工観光 課 商工 係 》

印章（はんこ）は、国・県認定の伝統工芸です。「日本一のはんこの里」である当町では購入費の半額を助成します。（上限1万円）

◆主な経費

・印章購入助成金	15.0 万円
----------	---------

●財源内訳●

町	15.0 万円 (100 %)
---	------------------

● 地場産業会館管理

208.0 万円

《 担当： 商工観光 課 商工 係 》

地場産業会館（印章資料館）は、商工会六郷支所と併設しています。管理運営については、市川三郷町商工会を指定管理者として、維持管理を行います。

◆主な経費

・年間指定管理委託料	96.5 万円
・年間機械警備委託料	24.0 万円
・地場産業会館トイレ改修工事	87.5 万円

●財源内訳●

町	208.0 万円 (100 %)
---	-------------------

● 製紙試験場管理運営

135.1 万円

《 担当： 商工観光 課 商工 係 》

製紙試験場は、町の地場産業の一つである和紙などの材料試験、品質検査、研究及び調査を専門的にを行います。

◆主な経費

・製紙試験場管理運営費	135.1 万円
-------------	----------

●財源内訳●

町	130.1 万円 (96 %)
他【使用料・手数料	5.0 万円 (4 %)

● 市川三郷町商工会運営費等補助金

850.0 万円

《 担当： 商工観光 課 商工 係 》

市川三郷町商工会は、地域社会の総合経済団体として、経営改善普及事業や地域振興事業など幅広い活動を通じ、地域商工業の振興に大きな役割を果たしています。

◆主な経費

・商工会運営費等補助金	700.0 万円
・プレミアム商品券助成金	150.0 万円

●財源内訳●

町	850.0 万円 (100 %)
---	-------------------



特産品事業拡大・雇用促進事業費補助事業

100.0 万円

《 担当： 商工観光 課 商工 係 》

和紙、印章、大塚にんじんなどの地場産業・特産品を使った事業の創業や事業の拡大、また雇用の創出につながる創業や事業の拡大をしようとする企業などに対し、必要な経費の一部を助成します。(上限20万円)

◆主な経費

・特産品事業拡大・雇用促進事業費補助 100.0 万円

●財源内訳●

町 100.0 万円 (100 %)



金曜どうでしょう事業

経費の計上なし

《 担当： 商工観光 課 商工 係 》

市川中央通り商店街と甲斐岩間駅前で小さい立ち飲み場を作り、地域の人が集う場所の提供をします。両商店街とも人で賑わい商店への集客のきっかけになるよう実施していきます。

◆主な経費

・備品(テント・テーブル・案内看板) 0.0 万円



お休みベンチイラスト作成

経費の計上なし

《 担当： 商工観光 課 商工 係 》

昨年設置したお休みベンチへ学童保育の子ども達に、市川三郷レンジャーなど思い思いの絵を描いてもらいイラストの入れ替えを行います。

◆主な経費

・イラスト製作、設置 0.0 万円



特産品収穫体験

経費の計上なし

《 担当： 商工観光 課 商工 係 》

甘々娘、大塚にんじん、レインボーレッド、桑茶など、町の特産品を収穫から製品になるまでの過程などを知ってもらい、町の特産品に興味を持ってもらう体験です。

◆主な経費

・収穫体験費 0.0 万円

● 農業委員会交付金事業

353.9 万円

《 担当： 農林 課 農業委員会 係 》

農業委員会は、農業全般にわたる問題を、農業者の創意と自主的な協力によって総合的に解決していくための農業者の代表機関として設置されている行政委員会です。

◆主な経費

・農業委員会委員報酬 353.9 万円

●財源内訳●

県	140.0 万円 (40 %)
町	213.9 万円 (60 %)



新規就農総合支援事業 (青年就農給付金)

225.0 万円

《 担当： 農林 課 農林 係 》

基幹的農業従事者の全国平均年齢が66.8歳(平成26年)と高齢化が進展する中、持続可能な力強い農業を実現するには、青年新規就農者を大幅に増加させることが必要です。青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後5年以内の所得を確保する給付金を交付します。

※新規就農者1名に対し年間150万円(定額補助)

※妻の場合は半額の年間75万円

◆主な経費

・新規就農者に対しての補助金 225.0 万円
(新規1名・残期間半年1名)

●財源内訳●

県	225.0 万円 (100 %)
---	-------------------

● 経営所得安定対策推進事業

99.0 万円

《 担当： 農林 課 農林 係 》

経営所得安定対策の実施に必要な農業者情報のシステム入力や、直接支払などにかかる経費及び作付面積の確認、農地集積の調整などを行うのに必要な経費を地域農業再生協議会に対して助成します。

◆主な経費

・市川三郷町地域農業再生協議会補助金 99.0 万円

●財源内訳●

県	99.0 万円 (100 %)
---	------------------

● 中山間地域等直接支払制度推進事業 58.1 万円

《 担当： 農林 課 農林 係 》

中山間地域の農業生産を維持して多面的機能を確保していくため集落協定書を結び、5年以上継続して農業生産活動を行う農業者に対して交付金を交付します。

◆主な経費

・認定集落協定直接支払交付金	54.7 万円
・推進事業消耗品	3.0 万円
・通信運搬費	0.4 万円

●財源内訳●

県	42.7 万円 (73 %)
町	15.4 万円 (27 %)

● 多面的機能支払制度事業 350.8 万円

《 担当： 農林 課 農林 係 》

農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動を支援します。

◆主な経費

・多面的機能支払制度補助金	346.9 万円
・推進事務費	3.9 万円

●財源内訳●

県	264.0 万円 (75 %)
町	86.8 万円 (25 %)

● 環境保全型農業直接支払事業 20.7 万円

《 担当： 農林 課 農林 係 》

意欲ある農業者などが、地球温暖化防止を目的とした環境保全に効果の高い営農活動に取り組む場合に支援します。

◆主な経費

・補助金	20.7 万円
------	---------

●財源内訳●

県	15.5 万円 (75 %)
町	5.2 万円 (25 %)

● 農地中間管理事業 10.0 万円

《 担当： 農林 課 農林 係 》

県農地中間管理機構は、担い手への農地集積・集約化と耕作放棄地の発生防止・解消を進める中核的な事業体です。町、農業委員会、農協、農地利用集積円滑化団体などとの連携を密にして、機構機能を最大限に発揮させ、農地中間管理事業を効率的かつ円滑に推進するため、町へ受託する事業です。

◆主な経費

・職員手当	10.0 万円
-------	---------

●財源内訳●

県	10.0 万円 (100 %)
---	------------------

● 鳥獣害防除事業 57.6 万円

《 担当： 農林 課 農林 係 》

農林作物を有害鳥獣から守るため、有害鳥獣防除施設を設置した農林業者に対し、資機材費の1/2を補助します。

◆主な経費

・有害獣防除資機材補助金 75.6 万円

●財源内訳●

町 57.6 万円 (100 %)

● 有害鳥獣の捕獲 75.0 万円

《 担当： 農林 課 農林 係 》

農林作物の被害防止のため、町内の各猟友会に銃や檻による捕獲を依頼します。

◆主な経費

・有害鳥獣捕獲出動報償費 75.0 万円

●財源内訳●

町 75.0 万円 (100 %)

● 特定鳥獣保護管理事業 185.0 万円

《 担当： 農林 課 農林 係 》

鳥獣の保護や捕獲を行い、鳥獣による被害対策などに効果的で適正な管理を図ります。各猟友会に保護・捕獲を依頼します。

【対象獣】イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル

◆主な経費

・特定鳥獣捕獲実績報償費 185.0 万円

●財源内訳●

県 92.5 万円 (50 %)

町 92.5 万円 (50 %)

● 鳥獣害防除整備事業 900.0 万円

《 担当： 農林 課 農林 係 》

中山間地域を中心に、イノシシやシカ・サルなどの野生鳥獣による農作物被害が深刻な問題となっています。このような被害を防ぐため、県単鳥獣害防除整備事業を活用して、侵入防止柵を計画的に設置します。

◆主な経費

・鳥獣害侵入防止柵設置工事費 900.0 万円

●財源内訳●

県 270.0 万円 (30 %)

町 630.0 万円 (70 %)

● 松くい虫防除事業

84.4 万円

《 担当： 農林 課 農林 係 》

松くい虫によって枯れた松を伐倒くん蒸処理し、松くい虫の蔓延を防ぐため、樹幹薬剤注入処理を実施します。

◆主な経費

・松くい虫被害木伐倒くん蒸・樹幹薬剤注入処理委託料 84.4 万円

●財源内訳●

町 84.4 万円 (100 %)

● 千本桜植栽下刈事業

12.7 万円

《 担当： 農林 課 農林 係 》

町道高田上原線（通称金川曾根広域農道）沿いに私有地の山林を借り上げ、桜を植え景観の保護を図るため、雑草の下刈りなどを行います。

◆主な経費

・下刈等委託料 10.0 万円
・土地借上料 2.7 万円

●財源内訳●

町 12.7 万円 (100 %)

● 農業用施設等維持管理

5,868.4 万円

《 担当： 土木整備 課 農林土木 係 》

農道、農業用水路などの農業用施設の維持管理に係る賃金、使賃料、原材料、除雪委託など、町内各地区排水機場の保守管理業務委託及び修繕費など、農業用施設の維持管理を行います。

◆主な経費

・農業用施設等維持管理費 580.0 万円
・排水機場保守点検費など 1,058.4 万円
・農業用施設に係る工事費 4,230.0 万円

●財源内訳●

県 950.0 万円 (16 %)
町 1,913.9 万円 (33 %)
他【起債・委託金・負担金】
3,004.5 万円 (51 %)

● 県営事業負担金

4,125.1 万円

《 担当： 土木整備 課 農林土木 係 》

中山間地域総合整備事業（市川三郷地区）農業用施設整備及び農村地域防災減災事業（富士川西部）富士川大橋等耐震工事にかかる県営事業負担金です。

◆主な経費

・ 中山間地域総合整備事業等負担金	3,000.0 万円
・ 農村地域防災減災事業負担金	1,125.1 万円

●財源内訳●

町	215.1 万円 (5 %)
他【 合併特例事業債 】	3,910.0 万円 (95 %)

● 林業施設等維持管理

136.5 万円

《 担当： 土木整備 課 農林土木 係 》

町内 5 箇所の林道（干波滝畑熊線、下芦川線、桜峠線、折八古関線、山保線など）の林業関係施設の維持管理を行います。

◆主な経費

・ 林業施設等維持管理費など	136.5 万円
----------------	----------

●財源内訳●

町	136.5 万円 (100 %)
---	-------------------

◆◆◆ 地域資源のブランド化 ◆◆◆



特産品認定マーク事業

経費の計上なし

《 担当： 商工観光 課 商工 係 》

町の特産品に、品質が良く、町のPRに繋がるものへ、町特産品の認定を行い国内外に優位に販売できるよう認定マークを交付します。

◆主な経費

・ 認定マーク考案	0.0 万円
-----------	--------



若者定住促進住宅補助金事業

800.0 万円

《 担当： 企画 課 企画 係 》

定住者の確保及び人口増加対策として、町内に住宅を取得する若者世帯を対象に補助金を交付します。補助限度額は 100 万円です。

- ・住宅の取得につき、50 万円
- ・一定の条件により、第 1 子 10 万円、第 2 子以降 1 人につき 20 万円
- ・転入者に限り所有する軽自動車の登録住所変更をした場合、1 台 2 万円（1 人 1 台まで）
- ・一定の条件により、（祖）父母同居につき 10 万円

※対象要件などがありますので、詳しくは企画係までお問い合わせ下さい。

◆主な経費

・若者定住促進住宅補助金 800.0 万円

●財源内訳●

町 800.0 万円（ 100 %）



住宅リフォーム助成事業

200.0 万円

《 担当： まちづくり推進 課 住宅 係 》

住宅リフォームをする方に対し、費用の一部を助成します。

◆主な経費

・補助金 200.0 万円

●財源内訳●

町 200.0 万円（ 100 %）

● 町営・町有住宅維持管理事業

1 億 7,833.0 万円

《 担当： まちづくり推進 課 住宅 係 》

町営・町有住宅の入退居の事務手続きや施設の修繕など、快適で住みやすくするための維持・管理を行います。

【平成 29 年 3 月 1 日現在の町営・町有住宅管理戸数 297 戸】

☆川浦団地 6 戸 ☆桃林橋団地 3 戸 ☆富士見団地 132 戸 ☆落居団地 16 戸 ☆宮原団地 20 戸 ☆岩間団地 33 戸 ☆町有住宅市川団地 80 戸 ☆定住促進住宅 7 戸

◆主な経費

・町営・町有住宅維持修繕費 9,134.0 万円
 ・桃林橋団地解体工事費 2,100.0 万円
 ・町営住宅エレベーター点検業務委託料など 3,176.0 万円
 ・その他 3,423.0 万円

●財源内訳●

国 1 億 6,350.0 万円（ 92 %）
 町 1,483.0 万円（ 8 %）



特別住民票発行事業

2.0 万円

《 担当： 企画 課 ふるさと納税 係 》

市川三郷町の誇れるものを県内外へPRしようと、動物やキャラクター、樹木などを登録し、希望者へその特別住民票を発行します。

また、ふるさと町民カードを交付し、町民の皆さまと同等に町内施設を利用させていただきます。

◆主な経費

・ふるさと町民カード代

2.0 万円

●財源内訳●

町 2.0 万円 (100 %)

● 移住・交流対策事業

13.3 万円

《 担当： 政策推進 課 政策推進 係 》

首都圏で開催される移住相談会に参加し、移住希望者に対して定住につながる情報提供を行います。

◆主な経費

・移住セミナーへの参加経費

10.3 万円

・富士の国やまなし移住・交流推進協議会負担金

3.0 万円

●財源内訳●

町 13.3 万円 (100 %)



空き家情報登録制度「空き家バンク」事業

110.0 万円

《 担当： 企画 課 企画 係 》

町への定住促進、空き家の有効活用などを目的に、賃貸・売却を希望する所有者から登録された町内の空き家を、町が利用希望者に情報を提供し、町への定住者などを増加させていくシステムです。

平成28年度より「空き家バンク」登録・利用促進補助金を創設し、契約成立した登録物件に対し、改修工事や残存する家財道具などの処分・撤去を行う場合には、「空き家バンク」登録・利用促進補助金を交付します。

・改修工事：改修に要した費用の1/2、上限100万円の補助

・家財処分：家財の処分・撤去に要した費用を1棟につき上限10万円の補助

※対象要件などがありますので、詳しくは企画係までお問い合わせ下さい。

◆主な経費

・「空き家バンク」登録・利用促進補助金 110.0 万円

●財源内訳●

町 110.0 万円 (100 %)



空き家対策事業

3,518.0 万円

《 担当： まちづくり推進 課 住宅 係 》

空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、本町においても空家等の適正な管理を図ります。空家等の倒壊や火災等を未然に防止し、地域と町民の安全、安心を提供できるように努めます

◆主な経費

・空き家等建物緊急措置修繕費 500.0 万円
・空き家等実態調査（2次調査）業務委託料など 2,540.0 万円
・その他 478.0 万円

●財源内訳●

国 1,100.0 万円 (31 %)
県 550.0 万円 (16 %)
町 1,868.0 万円 (00.00 %)

男女共同参画推進事業

11.6 万円

《 担当： 企画 課 企画 係 》

男女がお互いに尊重し合える男女共同参画社会実現に向けて、意識改革や啓発活動など各種事業を展開し、輝かしい未来創造のための男女共同参画プランを推進します。

◆主な経費

・推進活動費 8.3 万円
・委員報酬 3.3 万円

●財源内訳●

町 11.6 万円 (100 %)